

aging is beautiful

BAA ニュース

このところ暑い日が続き、真夏日になる地域もあるほどです。季節が前倒しになっているのでしょうか、地球環境の変化でしょうか。皆様には熱中症に気を付けていただき、これからの夏を過ごしていただきたいと思います。BAAでは6月3日に定時総会が開催され、新年度の活動方針や予算が決まります。今年度こそ、足を地に着けてこれからのBAAを皆様と活動してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。なお、ホームページが新しくなりました。新しい発想をもって我々の活躍の場になって欲しいと思います。ご覧になってください。

これからのBAAセミナー (個人会員の方も参加下さい)

☆ 『第27回ライフデザイン・アドバイザー養成講座』

(詳細をご覧ください: <http://www.baa.or.jp/lifedesign/session/index.html>)

会員の皆様が所属しておられる企業・団体の方、友人・知人の方で、講座を受講される方のご紹介をよろしくお願いいたします。

(募集要領)

- ・ 期間:7日間(6月18~20日,7月3~4日,17~18日,9時~17時)
- ・ 会場:機械振興会館B-3研修室(東京都港区芝公園3-5-8)
- ・ 受講料:118,800円(税込)、定員30名

☆ 1日受講者を募集します。ご連絡ください。(17,000円/日)

(申込み・お問合せ)

ライフデザイン・アドバイザー養成講座担当:横山 (yokoyama@baa.or.jp)

講座内容のご報告

☆ 失敗から学ぶ～事故やトラブル防止法を考える～

BAAが提供している、三鷹ネットワーク大学5月講座「これからの生き方を考える」で行われた、特定非営利活動法人失敗学会会員宮崎 敬氏の講演内容をご紹介します。

子どものころ、「失敗は成功のもと」と教えられた。人間は失敗しながら成長するという教訓であり、まだ若いうちとはとにかく失敗するものだという励ましなのだろう。また、科学技術は数々の失敗や偶然を繰り返しながら進歩している。一方、失敗は経済的、社会的に大きな損失をもたらす、尊い人命を失う悲劇につながることも少なくない。最初から失敗しようと考えて仕事に取り組む人はいないはずである。しかし、残念ながら失敗はなくなる。人間は失敗することを認めたくなくて、失敗から学ぶ必要がある。事故やトラブルの未然防止に取り組む「失敗学」の考えを紹介し、これまで起きてい

る事件の背景を探るとともに、事故やトラブル防止策を考える。

本日のテーマは、いろいろな失敗があること、失敗学の考え方、事故防止策を考えることである。失敗が生んだ発明もある。例えば、2002年ノーベル化学賞を受賞した田中耕一氏の場合は、実験で失敗した時にできた化合物を「もったいない」と感じて保存していた。事務に使われている付箋であるが、この開発に失敗した粘着力の弱い接着剤、これを商品化した。発酵中のワインを瓶詰めにして放置したら泡だらけになり、シャンパンが生まれた。このように失敗から生まれた発見、発明も多い。もちろん、許されない失敗も多い。鉄道会社で発生した重大事故、患者を取り違えた手術、同じ執刀医の手術で8名の患者が死亡、空港管制トラブルなどは、人命に係る失敗であり、あってはならない。

失敗に取り組むため失敗学という分野がある。畑村洋太郎氏(工学院大学教授・東京大学名誉教授・政府福島原発事故調査・検証委員長を歴任)が提唱者である。失敗学における失敗は人間が関わって行うひとつの行為が、はじめに定めた目的を達成できないこと、望ましくない、予期せぬ結果が生じることである。失敗の原因には、無知、不注意、手順の不順守、誤判断、調査・検討不足、制約条件の変化、企画不良、未知などがある。事故から学んで技術の発展があり、教育効果もある。未然防止に必要な考え方には、起こり得る失敗を事前に想定し未然に事故を防ぐ。過去の事例を知識化(=つまり)し、失敗知識から、具体的な事例を想定(=例えば)する。(提唱者:濱 哲也氏 東京大学大学院特任教授)

社会にとって大切なのは、損失を生む失敗の再発防止、さらには未然防止である。そのためには事故を起こした当事者を責めるのではなく、至った経緯を調査し、背景にある問題を可能な限り分析し、有効な再発防止策を実施する。組織が持つ問題を明らかにし、事故に至る要因を排除する。失敗情報を共有化し、そこから得られた知識を活用して未来の事故を防ぐこと。個人にとっても、似たような失敗を防ぐためには、共通する要因を考え、未然防止に努める。他人の失敗を他人事とせず、自分の場合に置き換え役立てる。事故やトラブル防止には、組織の健全性と個人のリスクセンスが重要になる。そのため、組織の健康診断で予兆を発見する、構成員のリスクセンスを鍛える必要がある。組織の健康診断のポイントは組織の学習態度(リスク管理、学習態度、教育、研修)、組織の管理能力(モニタリング組織、監査、内部通報制度、コンプライアンス)、組織の実践度(トップの実践、危険予知、ヒヤリハット、変更管理、コミュニケーション)の現状把握である。個人一人一人のリスクセンス(感度)を高め、隠された問題を洗い直すことが重要である。過去の事例を見ても、事故を起こした者に対する励まし方、現場力の強化、コミュニケーション力、リスクを予測する力がいかに大切であるかがわかる。人間は常に失敗するものだという前提で、未然防止策を徹底することが求められている。(文責 浦田健一郎)

会員会社情報

(会員会社の参加をお待ちいたします)

☆ 人材委員会(会員会社の人事・労務担当者の研究会です)

本年度第1回の人材委員会が6月3日に開催される予定です。人材委員会では、企業が取り組む人事制度の課題について、研究と情報交換を行っています。雇用延長が実施されるなかで、どのように人材を生かしていくか大きな課題になっています。委員会ではこれらの課題について情報交換していく予定です。年間6回各月に開催の予定です。6月の委員会では、取上げるテーマとスケジュールを検討する予定です。

BAA イベント情報

<http://www.baa.or.jp/events/info.html>

イベント情報はホームページとBAAニュース、または郵送でお送りしております。刷新したホームページをご覧ください。会員向けのパスワード“Baa2015”です。

1. 観劇会

以下予定しております。

- ① 7月22日(水):明治座「水森かおり 山川 豊特別公演」
- ② 8月6日(木):新橋演舞場「もとの黙阿弥」
- ③ 8月12日(木):明治座「志村けん一座 第10回公演」

2. 囲碁大会:7月2日(木)です。2800円で食事・景品付きで1日楽しんで頂きます。新しい方の参加大歓迎です。ご連絡ください。

3. 相撲:5月22日は満員御礼の中、開催されました。9月場所は9月25日(金)50名の募集です。現在38名の方が既にお申し込みです。席の確保が難しくなっています、お急ぎください。

4. お話の会:10月21日が増えました。まだ少し余裕があります。昼食付き4000円です。

- ① 6月17日「ディズニーランド秘話」
- ② 9月2日「お風呂は人を幸せにする」
- ③ 10月21日「仏像の観照・第3話」
- ④ 12月7日「人生のラストステージ・プランニング」

5. カラオケ同好会:毎月、目黒で、また隔月に吉祥寺で開催されております。人数に余裕があります。参加ご希望の方をお待ちしております。ご連絡下さい。

6. 尾瀬ハイキングツアー

尾瀬の四季をお楽しみいただいている好評なハイキングツアーです。

- ① 7月21～23日 夏の尾瀬沼と会津田島の祇園祭り
- ② 8月7～8日 安達太良山登山ツアー
- ③ 9月4～5日 初秋の尾瀬と至仏山
- ④ 10月9～10日 日光白根山登山と自然散策

7. シャンソンの会:池澤さんに連絡ください。

① 7月8日(水)「2015 ヌーヴォーバ里祭」:Bunkamura オーチャードホールで、ジュリアン・ドレがゲストで開催されます。http://www.mcbarbara.jp/image/parisai2015.jpg

②池澤さん公演:5月7,12,18,26,27,28,29、6月2,4,9,13,15,17,23,24日です。

☆①②お申込み・お問合せ:和香企画(044)567-3951 池澤さんまで

<参加申込・問合せについて> 観劇会・囲碁大会・お話の会は各申込み用紙に必要事項を記入して、FAX、メールで事務局横山迄お申し込みください。

講座内容のご報告

ライフプラン研修からのご報告(横山 出)

「古希過ぎての夫婦関係を思う」

会社に行くリズムが定年後から不規則になった。朝のゴミ出しが日課になったのは、無くなった収入源を補う自然の行動であった。歳をとると教養と教育が必要、と酔眼で親友が私に説いた中身は「今日行くところ、今日用があること」であった。テニスで肉離れを起こした75歳の先輩も飲み会には顔を出す。家に居ると家内のご機嫌が悪いのだそうだ。私も浪人をして家に居た時「あなたの仕事をしている時が好き」と言われ、また始めた仕事が現在も続いている。

私は愛されているのだろうか、必要とされているのだろうかと存在感に不安が走る。

「結婚後に配偶者を愛しているか」のデータがある。どうも20%の男女差があるようだ。新婚時代が懐かしい。(表はリクルートブライダル総研調べ)

同じ資料に「自分を犠牲にしてまで配偶者を幸せにしたいか」のデータもある。(そう思う・ややそう思う)の合算値は、女性が多くの不安感を持って結婚生活を過ごしてきたか、いるかを表している。私はその心を理解していたのだろうか、またその思いが癒されたことがあったのだろうか気にかかる。思いが届いていなくても一途でロマンティストな男性と思いたい。しかし結婚31年以上になって女性数値が上昇していることを希望にしていきたい。

「この先離婚することはない」では40歳代で危機的な夫婦の割合が40%もあった。しかし60歳代になると女性の(非常にそう思う・そう思う)の数値が男性を上回る。なぜ

配偶者を愛している? そう思う、ややそう思う、の合算値

結婚年数	男性	女性	男女差
1~3年	92.2%	89.7%	2.6
4~10年	78.5%	75.0%	3.5
11~20年	67.0%	53.4%	13.6
21~30年	75.9%	57.6%	18.3
31年以上	76.5%	54.6%	21.9

自分を犠牲にしてまでも配偶者を幸せにしたい

結婚年数	男性	女性	男女差
1~3年	90.0%	59.8%	30.2
4~10年	72.7%	40.6%	32.1
11~20年	57.0%	34.1%	22.9
21~30年	63.2%	32.3%	30.9
31年以上	66.7%	38.5%	28.2

この先離婚することはない?

年齢		男性	女性
40代	非常にそう思う	26.0%	28.0%
	ややそう思う	35.0%	32.0%
	合計	61.0%	60.0%
50代	非常にそう思う	30.0%	36.0%
	ややそう思う	42.0%	29.0%
	合計	72.0%	65.0%
60代	非常にそう思う	31.0%	53.0%
	ややそう思う	44.0%	32.0%
	合計	75.0%	85.0%

かホッとすると。そして深く考えないようにして心から感謝することにする。

これからのライフイベントを、年齢差を考えて思いを巡らせる。病気、介護、葬式とネガティブなことが最初に頭を過ぎる。ポジティブに考えよう、これからの時間を有意義にしたい。でも、いままで言い過ぎたことが思い出される。きっと傷ついているのだろうな。

【夫に言われて傷ついた言葉】が日経新聞に出ていた。(上位から)

- ① 「キミも太ったね」
- ② 体調が悪いのに「ご飯はないの?」「俺の飯は?」
- ③ 「家にいるんだから暇だろ」
- ④ 「片づけが下手だ」
- ⑤ 育児など手伝って欲しいといたら「仕事で疲れているんだ」
- ⑥ 「うるさい」
- ⑦ 話し方について「しつこいな」
- ⑧ 「誰のお陰で生活できるんだ」
- ⑨ 「で、結論はなに?」
- ⑩ 「俺の金を自由に使って何が悪い」
- ⑪ 「君には関係ない」
- ⑫ 子供の素行の悪さについて 「お前に似たんじゃないの」
- ⑬ 「もっと効率よくやれば」
- ⑭ 子供のことを相談して「どうでもいいじゃないか」
- ⑮ 「うちの親の悪口は言うな」

【夫に言われてうれしかった一言】

- ① 「おいしいね」、「ご馳走さま」
- ② 「家のご飯がおいしい」
- ③ 「いつもありがとう」
- ④ 「がんばってるね」
- ⑤ 夫側の家の行事に参加して「おつかれさまでした」
- ⑥ 「君と結婚してよかった」
- ⑦ 夫の友達や姑に対して「良くやってくれる」
- ⑧ 「えらいと思うよ」
- ⑨ 「実家でゆっくりしておいで」
- ⑩ 「今日は一段とかわいいね」

女性には金額でなく、回数、小まめさが重要と聞いた。これから何点取ることが出来るのだろうか。プラトンの「人はただ生きるだけではなく、よりよく生きることを求める」を実践するには、まだまだ時間がかかりそうな私である。(横山 出)

